

科目ナンバー： BC2022

授業コード： 2230200200

講義科目名称： 母性看護学Ⅱ

英文科目名称： Maternity Nursing Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員			
◎八巻ちひろ、増澤祐子、上田恵、五十畑麻奈美、黒崎美月、塚田文枝			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 後期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	◎八巻 ちひろ	新潟県立看護大学	309	cyamaki@niigata-cn.ac.jp
	増澤 祐子	同上	311	masuzawa@niigata-cn.ac.jp
	上田 恵	同上	302	ueda@niigata-cn.ac.jp
	五十畑 麻奈美	同上	共同研究室2	isohata@niigata-cn.ac.jp
	黒崎 美月	同上	共同研究室3	mitukuro@niigata-cn.ac.jp
	塚田 文枝	同上	共同研究室2	ftukada@niigata-cn.ac.jp
	実務経験のある教員が担当します			
【本学の科目区分】 専門科目				
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程				
【DP1】 ○	【DP2】 ◎	【DP3】 ○	【DP4】	【DP5】
【DP6】	【DP7】			

到達目標	1. 妊婦・産婦・褥婦・新生児の正常経過に伴う身体的・心理的・社会的変化について説明できる 2. 妊婦・産婦・褥婦・新生児のアセスメントおよび看護について説明できる 3. 妊婦・産婦・褥婦・新生児における健康問題について理解し、健康状態のアセスメントと看護について説明できる 4. Team Based Learning(以下, TBL) を通して対象理解のための基本的知識を修得するとともに必要な支援について表現できる
授業概要	妊婦・産婦・褥婦・新生児の身体的・心理的・社会的特徴および起こりやすい健康問題を理解したうえで、対象者が正常に経過するための看護について理解できるように構成している。また授業形態の一部にTBLを取り入れることで、対象理解のための基本的知識の整理や必要な支援を見出す思考過程を養うことを目指している。
授業計画	1 授業内容 授業形態：対面 学修課題：妊娠期における看護① 学修内容：妊婦の身体的、心理的、社会的特性 事前学修：教科書p62-91A妊娠期の身体的特性B妊娠期の心理・社会的特性を読む(15分)。 事後学修：授業終了時提示 備考：上田 2 授業内容 授業形態：対面 (Team Based Learning) 学修課題：妊娠期における看護② 学修内容：妊娠期における対象理解と支援(Team Based Learningを用いた演習) 事前学修：どこカレ掲示の「TBL事例&予習資料」の妊娠期について予習する(30分～60分)。 どこカレで演習内容を確認してから授業に臨む。 事後学修：授業内で明確化した自身の学修課題について、教科書、第1回の授業資料を用いて復習する。 備考：増澤 3 授業内容 授業形態：対面 学修課題：妊娠期における看護③ 学修内容：妊娠経過の診断とアセスメント、妊婦の日常生活のアセスメント、妊婦と家族の看護(保健指導の実践) 事前学修：どこカレ掲示の母性看護学事例(基礎情報と妊娠期経過)に目を通しておく。 どこカレ掲示の演習ワークブック【妊娠期】を実施する(20分)。 事後学修：授業終了時提示 備考：上田 4 授業内容 授業形態：対面

	学修課題：妊娠の異常と看護 学修内容：妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、常位胎盤早期剥離、前置胎盤、流早産、感染症、出生前診断の看護 事前学修：教科書p380-422妊娠の異常と看護を読む(15分)。 事後学修：授業終了時提示 備考：上田
5	授業内容 授業形態：対面 学修課題：分娩期における看護 学修内容：分娩の要素と分娩経過、産婦と胎児のアセスメント、産婦と家族の看護 事前学修：教科書p184-211A分娩の要素B分娩の経過を読む。 どこカレ掲示の母性看護学事例(分娩経過)に目を通しておく(15分)。 事後学修：教科書p211-260C産婦・胎児・家族のアセスメント-E分娩期の看護を読む(20分)。 備考：八巻
6	授業内容 授業形態：対面 学修課題：分娩の異常と看護 学修内容：前期破水、帝王切開術(前・中・後)、産科出血、胎児機能不全への看護 事前学修：教科書p423-489分娩の異常と看護を読む(15分)。 事後学修：講義内容を中心に復習する。 備考：塚田
7	授業内容 授業形態：対面 学修課題：産褥期における看護① 学修内容：産褥経過 事前学修：教科書p322-334(A産褥経過、余裕があればB褥婦のアセスメントp345まで)を読む。 どこカレ掲示の演習ワークブック【産褥期】を実施する(範囲は事前にどこカレで提示)(15分)。 事後学修：講義資料を中心に講義内容を復習する。 備考：八巻
8	授業内容 授業形態：対面 学修課題：産褥期における看護② 学修内容：褥婦のアセスメント、褥婦と家族の看護 事前学修：教科書p334-366B褥婦のアセスメントC褥婦と家族の看護を読む(15分)。 事後学修：講義資料を中心に講義内容を復習する。 備考：八巻
9	授業内容 授業形態：対面 学修課題：産褥の異常と看護 学修内容：肺塞栓、子宮復古不全、産褥熱、乳腺炎、産後うつ、死産・障がいをもつ新生児を出生した親の看護 事前学修：授業資料に目を通す(5分)。 事後学修：教科書の該当ページを読み、授業内容を復習する(20分)。 備考：黒崎
10	授業内容 授業形態：対面 学修課題：新生児期における看護① 学修内容：新生児の生理と機能 事前学修：授業資料に目を通し、どこカレ掲示の演習ワークブック【新生児期】を実施する(15分)。 事後学修：教科書の該当ページを読み、授業内容を復習する(15分)。 備考：黒崎
11	授業内容 授業形態：対面 学修課題：新生児期における看護② 学修内容：新生児のアセスメント、新生児の看護 事前学修：授業資料、どこカレ掲示の母性看護学事例(胎児・新生児情報)に目を通しておく(5分)。 事後学修：教科書の該当ページを読み、授業内容を復習する(15分)。 備考：黒崎
12	授業内容 授業形態：対面 学修課題：新生児の異常と看護 学修内容：早産児・低出生体重児、先天異常・障害をもつ新生児、高ビリルビン血症児、ハイリスク新生児の成長発達を促す看護 事前学修：授業資料に目を通す(5分)。 事後学修：教科書の該当ページを読み、授業内容を復習する(20分)。 備考：黒崎
13	授業内容 授業形態：対面 (Team Based Learning) 学修課題：産褥期における看護③；経膈分娩 学修内容：産褥期(新生児含む)における対象理解と必要な支援(Team Based Learningを用いた演習) 事前学修：どこカレ掲示の「TBL事例&予習資料」の産褥期(経膈分娩)について予習する(30分～60分)。 どこカレで演習内容を確認してから授業に臨む。 事後学修：授業内で明確化した自身の学修課題について、教科書、第7, 8, 10, 11回の授業資料を用いて復習する。 備考：八巻
14	授業内容

	15	授業形態：対面（Team Based Learning） 学修課題：産褥期における看護④；帝王切開 学修内容：産褥期（新生児含む）における対象理解と必要な支援（Team Based Learningを用いた演習） 事前学修：どこカレ掲示の「TBL事例&予習資料」の産褥期（帝王切開）について予習する（30分～60分）。 どこカレで演習内容を確認してから授業に臨む。 事後学修：授業内で明確化した自身の学修課題について、教科書、第6回の授業資料を用いて復習する。 備考：五十畑 授業内容 授業形態：対面 学修課題：グループワークにより退院指導を考える 学修内容：各グループで退院指導について調べ学修を行い、発表をする。 （発表形式はジグソー法によるポスターツアーを用いる） 事前学修：各グループで発表に向けた準備を行う（30～60分）。 事後学修：自己課題に基づき復習をする。 備考：担当教員全員
評価方法、評価基準		到達目標1～4に対し、最終試験（60％）、iRAT30％（各回10％3回分）、ポスター作成・発表（10％）で評価する。
必携図書		・森恵美，他編（2026）：系統看護学講座 専門分野 母性看護学各論 母性看護学2第15版，医学書院
参考図書・資料等		・太田操（2024）：ウェルネスの視点にもとづく母性看護過程第4版，医歯薬出版株式会社
受講、課題、資料配布等のルール		基本的には講義形式の授業の場合、各回講義前にどこカレに講義資料を掲示する。 講義形態がTBLの場合、「TBL事例&予習資料」の事前学修内容・範囲を事前にどこカレ上で提示するので、提示範囲を自己学修する。 20分以上の遅刻は欠席扱いとする。
教員からのメッセージ		本科目は、3年次の母性看護学演習および母性看護学実習に直結するので、積極的な姿勢で授業に臨むことを期待する。
オフィスアワー		在室時は可能な限り対応するが事前のメール連絡が望ましい。